

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-508392(P2005-508392A)

【公表日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-542316(P2003-542316)

【国際特許分類】

|                      |                  |
|----------------------|------------------|
| <i>C 07 C 217/28</i> | <i>(2006.01)</i> |
| <i>B 01 D 19/04</i>  | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 09 D 7/12</i>   | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 09 D 11/00</i>  | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 09 D 201/00</i> | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 09 J 11/06</i>  | <i>(2006.01)</i> |
| <i>C 09 J 201/00</i> | <i>(2006.01)</i> |

【F I】

|                      |   |
|----------------------|---|
| <i>C 07 C 217/28</i> |   |
| <i>B 01 D 19/04</i>  | B |
| <i>C 09 D 7/12</i>   |   |
| <i>C 09 D 11/00</i>  |   |
| <i>C 09 D 201/00</i> |   |
| <i>C 09 J 11/06</i>  |   |
| <i>C 09 J 201/00</i> |   |

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月31日(2005.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

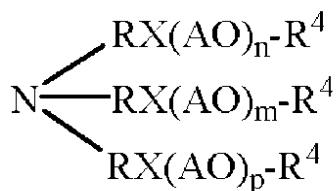
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の一般式(I)の化合物であって、

【化1】



各RがそれぞれC<sub>6</sub> - C<sub>10</sub>アリーレン基、任意にアリーレン基を含む直鎖または分枝鎖C<sub>2</sub> - C<sub>20</sub>アルキレン基、または1つ以上の-NH-基をアルキレン鎖中に含むC<sub>4</sub> - C<sub>20</sub>直鎖アルキレン基であり、Xがそれぞれ-O-、-S-、またはR<sup>5</sup>が水素またはC<sub>1</sub> - C<sub>6</sub>アルキルである-NR<sup>5</sup>-であり、各AO基がそれぞれエチレンオキシ(EO)、1,2-プロピレンオキシ(PO)、または1,2-ブチレンオキシ(BO)基であり、n、m、及びpのそれぞれが0~50の数で、n、m、及びpの合計が4~約50であり、並びに各R<sup>4</sup>基がそれぞれC(O)R<sup>6</sup>基からなる基から選択された成分、及び-CH<sub>2</sub>-CH(OH)-R<sup>9</sup>であり、R<sup>6</sup>とR<sup>9</sup>がそれぞれ飽和または非飽和、置換または非置換、C<sub>1</sub>

- C<sub>18</sub>炭化水素基である、化合物。

【請求項 2】

各 R がそれぞれエチレン基である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

各 R<sup>4</sup> 基がそれぞれ - C H<sub>2</sub> - C H ( O H ) - R<sup>9</sup> 基であり、各 R<sup>9</sup> がそれぞれ飽和または非飽和、置換または非置換、C<sub>1</sub> - C<sub>18</sub> 炭化水素基である、請求項 1 に記載の化合物。

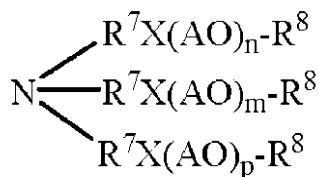
【請求項 4】

各 R<sup>9</sup> がそれぞれ C<sub>4</sub> - C<sub>12</sub> アルキル基である、請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 5】

以下の一般式 (2) の化合物であって、

【化 2】



各 R<sup>7</sup> がそれぞれ直鎖または分岐鎖 C<sub>2</sub> - C<sub>10</sub> アルキレン基であり、各 X がそれぞれ - O - 、 - S - 、または R<sup>5</sup> が水素または C<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> アルキル基である - N R<sup>5</sup> - であり、各 A O 基がそれぞれエチレンオキシ ( EO ) 、 1 , 2 - プロピレンオキシ ( PO ) 、または 1 , 2 - ブチレンオキシ ( BO ) 基であり、n、m、及び p の合計が 6 ~ 27 であり、並びに各 R<sup>8</sup> 基がそれぞれ - C H<sub>2</sub> - C H ( O H ) - R<sup>9</sup> であり、そこで R<sup>9</sup> が直鎖または分岐鎖、飽和または非飽和、C<sub>1</sub> - C<sub>18</sub> 炭化水素基である、化合物。

【請求項 6】

前記 R<sup>7</sup> 基が全てエチレン基であり、X 基が全て - O - 基であり、並びに n、m、及び p の合計が 6 ~ 18 である、請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 7】

全ての R<sup>9</sup> 基が C<sub>4</sub> - C<sub>12</sub> アルキル基である、請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 8】

全ての R<sup>9</sup> 基が C<sub>4</sub> - C<sub>12</sub> アルキル基であり、n、m、及び p の合計が 6 ~ 12 であり、全ての A O 基がエチレンオキシ基である、請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 9】

各 X が - O - である、請求項 1 又は 5 に記載の化合物。

【請求項 10】

各 A O 基がエチレンオキシ基である、請求項 1、5、6 又は 9 に記載の化合物。

【請求項 11】

各 R がそれぞれ直鎖または分枝鎖 C<sub>2</sub> - C<sub>10</sub> アルキレン基である、請求項 1, 9 又は 10 に記載の化合物。

【請求項 12】

n、m、及び p の合計が 6 ~ 27 である、請求項 1, 3, 9, 10 又は 11 に記載の化合物。

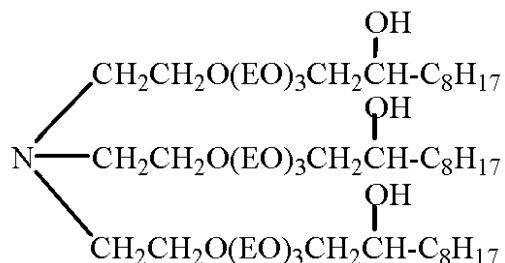
【請求項 13】

n、m、及び p の合計が 6 ~ 12 である、請求項 1 又は 5 に記載の化合物。

【請求項 14】

化合物が以下の一般式 (IV) 、

## 【化3】



を有し、式中、鎖当たりの3個のEO基は、合計9個のEO基の平均を示し、C<sub>8</sub>H<sub>17</sub>基は直鎖または分枝鎖である、化合物。

## 【請求項15】

請求項1、5又は14に記載の少なくとも1つの化合物を界面活性有効量含む水性または非水系組成物。

## 【請求項16】

請求項1、5又は14に記載の少なくとも1つの化合物の消泡有効量を含む水性または非水系組成物。

## 【請求項17】

前記組成物が、ラテックス塗料、インク、接着剤、または金属作用組成物である、請求項15又は16に記載の組成物。

## 【請求項18】

9モルの酸化エチレンでエポキシ化されたトリエタノールアミンとエポキシ化C<sub>10</sub>オレフィンの反応生成物であって、前記トリエタノールアミンと前記エポキシ化オレフィンが約1:3のモル比で反応する、反応生成物。

## 【請求項19】

前記C<sub>10</sub>オレフィンがアルファオレフィンである請求項18に記載の反応生成物。

## 【請求項20】

I) 請求項1に記載の化合物を少なくとも1つ、及び

II) アルキルポリグリコシドを少なくとも1つ、

含む水性界面活性剤組成物であって、消泡有効量の成分Iが水性組成物中に存在する、水性界面活性剤組成物。